

「香川県がん対策推進計画」の見直しと策定について

- ・香川県がん対策推進計画の見直しについて 1
- ・第4期がん対策推進基本計画(概要) (令和5年3月28日閣議決定) 2
- ・第4期がん対策推進計画の主な見直しのポイント 3
- ・第3次香川県がん対策推進計画(平成30年3月策定) 4
- ・ロジックモデルについて 5
- ・第4次香川県がん対策推進計画 骨子(案) 6～7
- ・第4次香川県がん対策推進計画 骨子項目(案)－国と県の比較表・新旧対照表－参考資料 8～11
- ・第3次香川県がん対策推進計画(平成30年3月策定) の概要 参考資料 12
- ・第3次香川県がん対策推進計画数値目標の進捗状況 参考資料 13
- ・第4期がん対策推進計画(令和5年3月28日) 別添資料
- ・第4期がん対策推進計画(令和5年3月28日) 別添資料

香川県がん対策推進計画の見直しについて

1. 趣旨

- がん対策基本法(平成18年法律第98号)に基づき、国は「がん対策推進基本計画」を策定し、都道府県は「都道府県がん対策推進計画」を策定することとなっている。
- 国は令和5年3月に「がん対策推進基本計画」を見直し、実行期間を令和10(2028)年度までの第4期計画を閣議決定。
- 本県においても、現計画の計画期間は令和5年度までとなっており、第4次「香川県がん対策推進計画」を策定する。

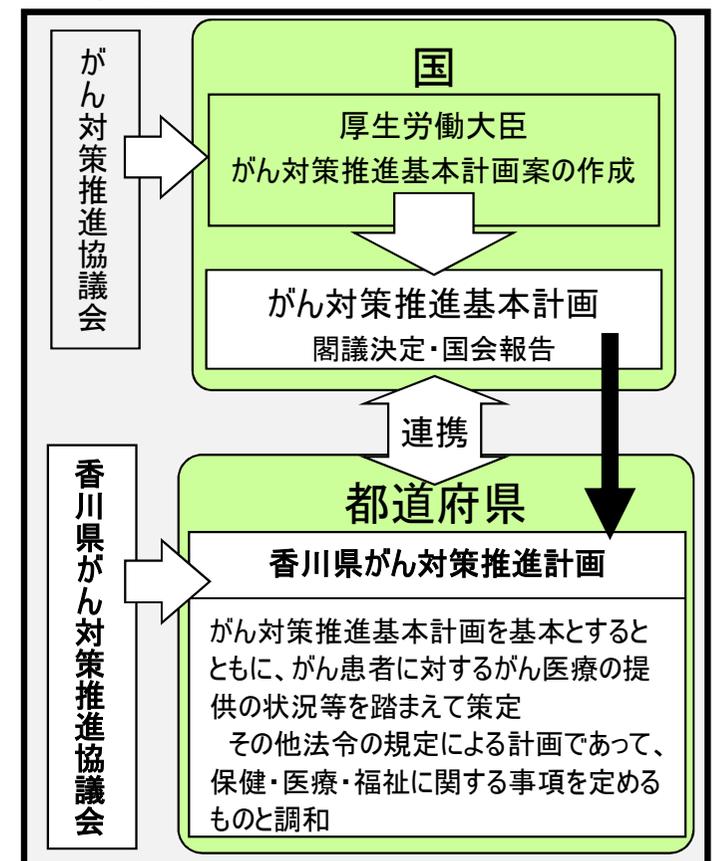
2. 見直しの考え方

- 国のがん対策推進基本計画を基本として見直しを行う。
- 第3次「香川県がん対策推進計画」の進捗状況や、本県におけるがん患者に対するがん医療の提供の状況等を踏まえたものとする。
- がん対策に携わる関係者の意見を踏まえるとともに、「香川県がん対策推進条例」や、「香川県保健医療計画」等関係する県計画との調和を図る。

3. 今後の計画見直しスケジュール

- R5. 8月 骨子(案)の審議
- R5.10月 素案の審議
- R5.12月 パブリックコメント実施
- R6. 1月 計画(案)の審議
- R6. 2月 議会へ議案提出 →3月 公表(予定)

4. 策定スキーム



第4期がん対策推進基本計画（令和5年3月28日閣議決定）概要

第1. 全体目標と分野別目標 / 第2. 分野別施策と個別目標

全体目標：「誰一人取り残さないがん対策を推進し、全ての国民とがんの克服を目指す。」

「がん予防」分野の分野別目標

がんを知り、がんを予防すること、がん検診による早期発見・早期治療を促すことで、がん罹患率・がん死亡率の減少を目指す

1. がん予防

- (1) がんの1次予防
 - ①生活習慣について
 - ②感染症対策について
- (2) がんの2次予防（がん検診）
 - ①受診率向上対策について
 - ②がん検診の精度管理等について
 - ③科学的根拠に基づくがん検診の実施について

「がん医療」分野の分野別目標

適切な医療を受けられる体制を充実させることで、がん生存率の向上・がん死亡率の減少・全てのがん患者及びその家族等の療養生活の質の向上を目指す

2. がん医療

- (1) がん医療提供体制等
 - ①医療提供体制の均てん化・集約化について
 - ②がんゲノム医療について
 - ③手術療法・放射線療法・薬物療法について
 - ④チーム医療の推進について
 - ⑤がんのリハビリテーションについて
 - ⑥支持療法の推進について
 - ⑦がんと診断された時からの緩和ケアの推進について
 - ⑧妊孕性温存療法について
- (2) 希少がん及び難治性がん対策
- (3) 小児がん及びAYA世代のがん対策
- (4) 高齢者のがん対策
- (5) 新規医薬品、医療機器及び医療技術の速やかな医療実装

「がんとの共生」分野の分野別目標

がんになっても安心して生活し、尊厳を持って生きることのできる地域共生社会を実現することで、全てのがん患者及びその家族等の療養生活の質の向上を目指す

3. がんとの共生

- (1) 相談支援及び情報提供
 - ①相談支援について
 - ②情報提供について
- (2) 社会連携に基づく緩和ケア等のがん対策・患者支援
- (3) がん患者等の社会的な問題への対策（サバイバーシップ支援）
 - ①就労支援について
 - ②アピアランスケアについて
 - ③がん診断後の自殺対策について
 - ④その他の社会的な問題について
- (4) ライフステージに応じた療養環境への支援
 - ①小児・AYA世代について
 - ②高齢者について

4. これらを支える基盤

- (1) 全ゲノム解析等の新たな技術を含む更なるがん研究の推進
- (2) 人材育成の強化
- (3) がん教育及びがんに関する知識の普及啓発
- (4) がん登録の利活用の推進
- (5) 患者・市民参画の推進
- (6) デジタル化の推進

第3. がん対策を総合的かつ計画的に推進するために必要な事項

- 1. 関係者等の連携協力の更なる強化
- 2. 感染症発生・まん延時や災害時等を見据えた対策
- 3. 都道府県による計画の策定
- 4. 国民の努力
- 5. 必要な財政措置の実施と予算の効率化・重点化
- 6. 目標の達成状況の把握
- 7. 基本計画の見直し

第4期がん対策推進計画の主な見直しのポイント

1. がん予防

「がん検診受診率」の目標について、いずれのがん種においても増加傾向であり、一部のがん種で目標値を達成できたことから、さらなる受診率向上を目指し50%から60%に引き上げされた。

2. がん医療

「緩和ケア」について、すべての医療従事者が診断時から治療と併せて取り組むべきとの趣旨から、がん医療分野の中に記載された。

3. がんとの共生

治療を継続しながら社会生活を送るがん患者が増加する中で、治療に伴う外見変化に対するサポートが重要であることを踏まえ、「アピアランスケア(※)」を独立した項目として記載し、拠点病院等を中心としたアピアランスケアに係る相談支援・情報提供体制の構築等を推進について記載された。

※医学的・整容的・心理社会的支援を用いて、外見の変化を補完し、外見の変化に起因するがん患者の苦痛を軽減するケア

4. これらを支える基盤

国民本位のがん対策を推進する観点から「患者・市民参画の推進」を、医療・福祉・保健サービスの効率的・効果的な提供や、患者やその家族等のサービスへのアクセシビリティ向上の観点から「デジタル化の推進」が新規追加された。

その他

全体目標、分野別目標及び個別目標と各施策の関連性を明確にし、PDCAサイクルの実効性を確保するために、ロジックモデル(後述)を活用することが明記された。

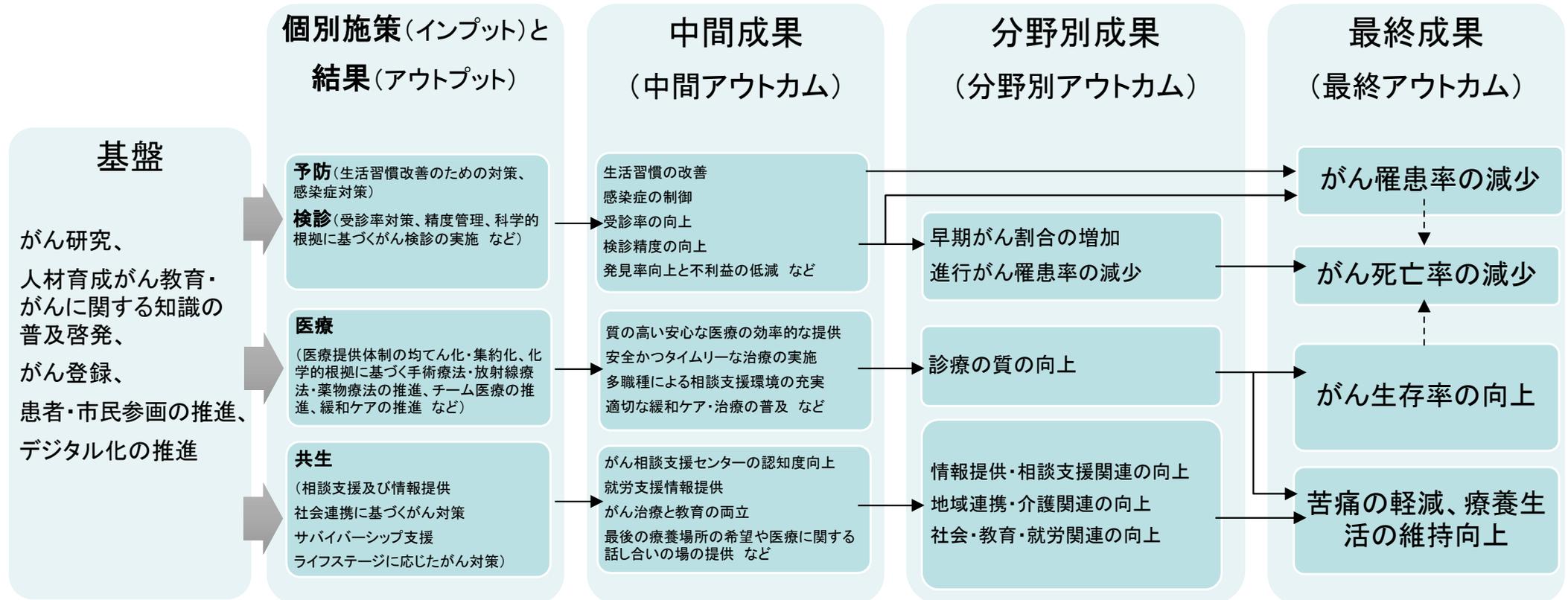
ロジックモデルについて

- ◆ 事業や組織が最終的に達成したい成果をの實現に向けた道筋を体系的に図子化したもの
- ◆ 資源や施策・活動(インプット)、結果(アウトプット)、成果(アウトカム)を矢印等でつなげたもの

ロジックモデルの構成要素



第4期がん対策推進計画 ロジックモデル(案):基本ロジックモデルの構成



第4次香川県がん対策推進計画 骨子(案)

第1章 香川県のがん対策推進計画について

1. 計画策定の趣旨

- ・ 本県においては、がんは昭和52年から死亡原因の第1位となっている特に、40代から60代の世代は、がんが死亡原因の約40%を占めており、60代から70代においては約45%を占めている。がんは県民の生命と健康にとって重大な問題である。
- ・ 平成30年3月に策定した「第3次香川県がん対策推進計画」に基づき、各種のがん対策を推進してきた。
- ・ 国の第4期「がん対策推進計画」が令和5年3月に策定され、本県においても、現計画の計画期間が終了することから、国の計画を基本としつつ、本件の状況を踏まえて、次期計画の策定を行うものである。

2. 計画の位置づけ

- ・ 「がん対策基本法（平成18年法律第98号）」第12条第1項に基づく「都道府県がん対策推進計画」である。
- ・ 国の「第4期がん対策推進計画」を基本としつつ、「香川県がん対策推進条例（平成23年香川県条例第34号）」を踏まえたものとする。
- ・ 「第八次香川県保健医療計画」、「健やか香川21ヘルスプラン（第3次）」及び「第8期香川県高齢者保健福祉計画」などと調和を図る。

3. 計画期間

- ・ 令和6（2024）年度から令和11（2029）年度までの6年間

第2章 香川県におけるがんを取り巻く現状

1. 人口の推移

2. がんによる死亡の状況

- (1) 主要死因別の死亡率の推移
- (2) 主な死因別の死亡数割合
- (3) がんによる死亡数の推移
- (4) 年齢階層別のがん死亡者数及び割合
- (5) 75歳未満がんの年齢調整死亡率の推移
- (6) 部位別がん死亡数
- (7) 主な部位別の年齢調整死亡率の推移

3. がんによる罹患の状況

- (1) がん罹患数の年次推移
- (2) 性別・年齢階級別がん罹患率
- (3) 部位別罹患数の内訳

4. がん医療提供体制とがん相談支援体制の状況

(1) がん医療提供体制

- ・ がん検診体制
- ・ がん診療体制(がん診療連携拠点病院)
- ・ 緩和ケア体制

(2) がん相談支援体制

- ・ がん相談支援センター
- ・ がんサロン
- ・ ピアサポーター相談会

第4次香川県がん対策推進計画 骨子(案)

第3章 前計画の評価

第4章 基本理念及び全体目標

1. 基本理念 「県民一人ひとりが、がんを知り、お互いに手をたずさえて、がんの克服を目指す」

2. 全体目標

- (1) 科学的根拠に基づくがん予防・がん検診の充実
- (2) 患者本位で持続可能ながん医療の提供
- (3) がんとともに尊厳を持って安心して暮らせる社会の構築

第5章 分野別施策と個別目標

1. 科学的根拠に基づくがん予防・がん検診の充実

(1) がんの1次予防(罹患リスクの低減)

- ① 喫煙対策
- ② 感染に起因するがん予防対策
- ③ 食生活、運動等の生活習慣の改善

(2) がんの2次予防(早期発見・早期受診)

- ① がん検診の受診率向上対策
- ② がん検診の精度管理等
- ③ 科学的根拠に基づくがん検診の実施

(第5章 つづき)

2. 患者本位で持続可能ながん医療の提供

(1) がん医療提供体制等の充実

① がん拠点病院等の充実

- ・がん診療拠点病院
- ・小児がん拠点病院、がんゲノム医療拠点病院
- ・香川県がん診療連携協力病院(仮称)

② 医療内容の充実

- ・手術療法、放射線療法、薬物療法
- ・支持療法の推進

③ チーム医療体制の推進

- ・がんと診断されたときからの緩和ケア
- ・多職種連携、地域医療機関
- ・口腔ケア、栄養管理
- ・がんのリハビリテーション
- ・ACP(アドバンス・ケア・プランニング/人生会議)

④ 妊孕性温存療法

(2) がんの特性や世代に応じた対策

- ① 希少がん及び難治性がん対策
- ② 小児がん及びAYA世代のがん対策
- ③ 高齢者のがん対策

第4次香川県がん対策推進計画 骨子(案)

(第5章 つづき)

3. がんとともに尊厳を持って安心して暮らせる社会の構築

(1) 相談支援及び情報提供

- ① がん相談支援センター
- ② がんサロン、ピア・サポーター
- ③ がんに関する正しい情報提供

(2) 社会連携に基づく緩和ケア等のがん対策・患者支援

- ① セカンドオピニオン
- ② 地域緩和ケア連携調整員
- ③ 地域連携クリティカルパス
・K-MIX Rの活用

(3) がん患者等の社会的な問題への対策(サバイバーシップ支援)

- ① 就労支援
- ② アピアランスケア
- ③ がん診断後の自殺対策
- ④ その他の社会的な問題

(4) ライフステージに応じた支援

- ① 小児・AYA世代について
- ② 高齢者について
・ACP(アドバンス・ケア・プランニング/人生会議)

4. これらを支える基盤の整備

(1) 人材育成の強化

- ① 緩和ケア研修会
- ② ピア・サポーター研修
- ③ 訪問介護、在宅医療等の人材
- ④ 教育を担う人材

(2) がん教育、がんに関する知識の普及啓発

- ① 子ども、学校におけるがん教育
- ② 県民向けの正しい知識の普及啓発
- ③ 事業主・職域への情報提供

(3) がん登録精度の維持とデータ利活用の推進

(4) 患者・市民参画の推進

(5) デジタル化の推進

第6章 がん対策を総合的かつ計画的に推進するために

1. 計画の推進体制

2. 感染症発生・まん延時や災害時等を見据えた対策

3. 計画推進に当たってのそれぞれの役割

(1) 県の役割

(2) がん患者を含めた県民の役割

(2) 保健医療機関・関係団体の役割

(3) 検診機関の役割

(4) 市町の役割

(5) 事業者の役割

(6) 患者団体の役割

4. 計画の進行管理

第4次香川県がん対策推進計画 骨子項目(案)－国と県の比較表・新旧対照表－

第4期 国計画（2023年3月）	第3次 香川県計画（2018年3月）現行	第4次 香川県計画（案）
はじめに	第1章 計画策定に当たって 1. 計画策定の趣旨 2. 計画の位置づけ 3. 計画の基本理念 4. 計画の期間	第1章 香川県がん対策推進計画について 1. 計画策定の趣旨 2. 計画の位置づけ 3. 計画の期間
	第2章 本県のがんを取り巻く状況 1. 人口の高齢化 2. がんの状況 （1）がん患者の状況 （2）がんによる死亡者の状況 3. がん医療の状況	第2章 本県のがんを取り巻く状況 1. <u>人口の推移</u> 2. <u>がんによる死亡の状況</u> （1） <u>主要死因別の死亡率の推移</u> （2） <u>主な死因別の死亡数割合</u> （3） <u>がんによる死亡数の推移</u> （4） <u>年齢階層別のがん死亡者数及び割合</u> （5） <u>75歳未満がんの年齢調整死亡率の推移</u> （6） <u>部位別がん死亡数</u> （7） <u>主な部位別の年齢調整死亡率の推移</u> 3. <u>がんによる罹患の状況</u> （1） <u>がん罹患数の年次推移</u> （2） <u>性別・年齢階級別がん罹患率</u> （3） <u>部位別罹患数の内訳</u> 4. <u>がん医療提供体制とがん相談支援体制の状況</u> （1） <u>がん医療提供体制</u> ・ <u>がん検診体制</u> ・ <u>がん診療体制（がん診療連携拠点病院）</u> ・ <u>緩和ケア体制</u> （2） <u>がん相談支援体制</u> ・ <u>がんサロン</u> ・ <u>ピアサポーター相談会</u> ・ <u>香川県地域両立支援推進チーム</u>
	第3章 前計画の評価	第3章 前計画の評価 【全体目標】がんによる死亡者の減少 【個別目標】

第4次香川県がん対策推進計画 骨子項目(案)－国と県の比較表・新旧対照表－

第4期 国計画 (2023年3月)	第3次 香川県計画 (2018年3月) 現行	第4次 香川県計画 (案)
<p>第1 全体目標と分野別目標</p> <p>1. 科学的根拠に基づくがん予防・がん検診の充実 2. 患者本位で持続可能ながん医療の提供 3. <u>がんとともに尊厳を持って安心して暮らせる社会の構築</u></p>	<p>第4章 全体目標</p> <p>1. 科学的根拠に基づくがん予防・がん検診の充実 2. 患者本位のがん医療の実現 3. 尊厳を持って安心して暮らせる社会の構築</p>	<p>第4章 全体目標</p> <p>1. <u>基本理念</u> 「県民一人ひとりが、がんを知り、お互いに手をたずさえて、がんの克服を目指す」(仮)</p> <p>2. 全体目標 (1) 科学的根拠に基づくがん予防・がん検診の充実 (2) 患者本位で持続可能ながん医療の提供 (3) <u>がんとともに尊厳を持って安心して暮らせる社会の構築</u></p>
<p>第2 分野別施策と個別目標</p> <p>1. 科学的根拠に基づくがん予防・がん検診の充実 (1) <u>がんの1次予防</u> ① 生活習慣について ② 感染症対策について</p> <p>(2) <u>がんの早期発見、がん検診(2次予防)</u> ① 受診率向上対策について ② がん検診の精度管理等について ③ <u>科学的根拠に基づくがん検診の実施について</u></p>	<p>第5章 分野別施策と個別目標</p> <p>1. 科学的根拠に基づくがん予防・がん検診の充実 (1) <u>がんの発症予防の推進</u> ① 喫煙対策 ② 食生活、運動等の生活習慣の改善 ③ 感染に起因するがん予防対策</p> <p>(2) <u>がんの早期発見の推進</u> ① がん検診の受診率の向上 ② 精密検査の受診率の向上 ③ がん検診の精度管理の充実</p>	<p>第5章 分野別施策と個別目標</p> <p>1. 科学的根拠に基づくがん予防・がん検診の充実 (1) <u>がんの1次予防(罹患リスクの低減)</u> ① 喫煙対策 ② 感染に起因するがん予防対策 ③ 食生活、運動等の生活習慣の改善</p> <p>(2) <u>がんの2次予防(早期発見・早期受診)</u> ① がん検診の受診率向上対策 ② がん検診の精度管理等 ③ <u>科学的根拠に基づくがん検診の実施</u></p>
<p>2. 患者本位で持続可能ながん医療の提供 (1) <u>がん医療提供体制等</u> ① 医療提供体制の均てん化・集約化について ② がんゲノム医療について</p> <p>③ <u>手術療法・放射線療法・薬物療法について</u> (ア) 手術療法について (イ) 放射線療法について (ウ) 薬物療法について</p>	<p>2. 患者本位のがん医療の実現 (1) <u>がんの各治療法等の充実とチーム医療の推進</u></p>	<p>2. 患者本位で持続可能ながん医療の提供 (1) <u>がん医療提供体制等の充実</u> ① <u>携拠点病院等の充実</u> ・ <u>がん診療拠点病院</u> ・ <u>小児がん拠点病院、がんゲノム医療拠点病院</u> ・ <u>香川県がん診療連携協力病院(仮称)</u> ② <u>医療内容の充実</u> ・ <u>手術療法、放射線療法、薬物療法</u> ・ <u>支持療法の推進</u></p>

第4次香川県がん対策推進計画 骨子項目(案)－国と県の比較表・新旧対照表－

第4期 国計画 (2023年3月)	第3次 香川県計画 (2018年3月) 現行	第4次 香川県計画 (案)
<p>④ チーム医療の推進について</p> <p>⑤ がんのリハビリテーションについて</p> <p>⑥ 支持療法の推進について</p> <p>⑦ <u>がんと診断された時からの緩和ケアの推進について</u></p> <p> (ア) 緩和ケアの提供について</p> <p> (イ) 緩和ケア研修会について</p> <p>⑧ <u>妊孕性温存療法について</u></p> <p>(2) 希少がん及び難治性がん対策</p> <p>(3) 小児がん及びAYA世代のがん対策</p> <p>(4) 高齢者のがん対策</p> <p>(5) 新規医薬品、医療機器及び医療技術の速やかな医療実装</p>	<p>(2) それぞれのがんの特性や世代に応じた対策</p> <p>(3) がん登録の推進</p>	<p>③ <u>チーム医療体制の推進</u></p> <p> ・<u>がんと診断されたときからの緩和ケアの提供</u></p> <p> ・<u>多職種連携、地域医療機関</u></p> <p> ・<u>口腔ケア、栄養管理</u></p> <p> ・<u>がんのリハビリテーション</u></p> <p> ・<u>ACP (アドバンス・ケア・プランニング/人生会議)</u></p> <p>④ <u>妊孕性温存療法</u></p> <p>(2) <u>がんの特性や世代に応じた対策</u></p> <p> ① <u>希少がん及び難治性がん対策</u></p> <p> ② <u>小児がん及びAYA世代のがん対策</u></p> <p> ③ <u>高齢者のがん対策</u></p>
<p>3. <u>がんとともに尊厳を持って安心して暮らせる社会の構築</u></p> <p>(1) <u>相談支援及び情報提供</u></p> <p> ① <u>相談支援について</u></p> <p> ② <u>情報提供について</u></p> <p>(2) <u>社会連携に基づく緩和ケア等のがん対策・患者支援</u></p> <p>(3) <u>がん患者等の社会的な問題への対策 (サバイバーシップ支援)</u></p> <p> ① <u>就労支援について</u></p> <p> ② <u>アピアランスケアについて</u></p> <p> ③ <u>がん診断後の自殺対策について</u></p> <p> ④ <u>その他の社会的な問題について</u></p>	<p>3. <u>尊厳を持って安心して暮らせる社会の構築</u></p> <p>(1) <u>がんと診断された時からの緩和ケアの推進</u></p> <p>(2) <u>がんに関する相談支援や情報提供体制の充実</u></p> <p>(3) <u>社会連携に基づくがん対策・がん患者の支援</u></p> <p>(4) <u>がん患者等を取り巻く社会的な問題への対応</u></p>	<p>3. <u>がんとともに尊厳を持って安心して暮らせる社会の構築</u></p> <p>(1) <u>相談支援及び情報提供</u></p> <p> ① <u>がん相談支援センター</u></p> <p> ② <u>がんサロン、ピア・サポーター</u></p> <p> ③ <u>がんに関する正しい情報提供</u></p> <p>(2) <u>社会連携に基づくがん対策・がん患者支援</u></p> <p> ① <u>セカンドオピニオン</u></p> <p> ② <u>地域緩和ケア連携調整員</u></p> <p> ③ <u>地域連携クリティカルパス</u></p> <p> ・<u>K-MIX Rの活用</u></p> <p>(3) <u>がん患者等の社会的な問題への対策 (サバイバーシップ支援)</u></p> <p> ① <u>就労支援</u></p> <p> ② <u>アピアランスケア</u></p> <p> ③ <u>自殺対策等の社会的な問題</u></p>

第4次香川県がん対策推進計画 骨子項目(案)－国と県の比較表・新旧対照表－

第4期 国計画（2023年3月）	第3次 香川県計画（2018年3月）現行	第4次 香川県計画（案）
<p>(4) ライフステージに応じた療養環境への支援 ① 小児・AYA世代について ② 高齢者について</p> <p>4. これらを支える基盤の整備 (1) <u>全ゲノム解析等の新たな技術を含む更なるがん研究の推進</u> (2) 人材育成の強化 (3) <u>がん教育及びがんに関する知識の普及啓発</u> (4) <u>がん登録の利活用の推進</u> (5) <u>患者・市民参画の推進</u> (6) <u>デジタル化の推進</u></p>	<p>4. がん対策を支える基盤の整備 (1) 医療従事者等の育成 (2) <u>がん教育の推進</u> (3) <u>それぞれのがんの特性や世代に応じた対策</u> (希少がん、難治性がん対策、小児がん、AYA世代のがん、高齢者のがん対策)</p>	<p>(4) ライフステージに応じた支援 ① 小児・AYA世代について ② 高齢者について ・ACP（アドバンス・ケア・プランニング/人生会議）</p> <p>4. これらを支える基盤の整備 (1) <u>人材育成の強化</u> ① <u>緩和ケア研修会</u> ② <u>ピア・サポーター研修</u> ③ <u>訪問介護、在宅医療等の人材</u> ④ <u>教育を担う人材</u> (2) <u>がん教育、がんに関する知識の普及啓発</u> ① <u>学校におけるがん教育の推進</u> ② <u>県民向けの正しい知識の普及啓発</u> ③ <u>事業主・職域への情報提供</u> (3) <u>がん登録精度の維持とデータ利活用の推進</u> (4) <u>患者・市民参画の推進</u> (5) <u>デジタル化の推進</u></p>
<p>第3 <u>がん対策を総合的かつ計画的に推進するために必要な事項</u> 1. 関係者等の連携協力の更なる強化 2. <u>感染症発生・まん延時や災害時等を見据えた対策</u> 3. 都道府県による計画の策定 4. 国民の努力 5. 必要な取組措置の実施と予算の効率化・重点化 6. 目標の達成状況の把握 7. 基本計画の見直し</p>	<p>第6章 <u>がん対策を総合的かつ計画的に推進するために</u> 1. 計画の進行管理 2. 計画の見直し 3. <u>がん対策を推進するために</u> (1) 県の役割 (2) <u>がん患者を含めた県民の役割</u> (3) 保健医療関係者の役割 (4) 市町の役割 (5) 事業者の役割</p>	<p>第6章 <u>がん対策を総合的かつ計画的に推進するために</u> 1. <u>計画の推進体制</u> 2. <u>感染症発生・まん延時や災害時等を見据えた対策</u> 3. <u>計画推進に当たってのそれぞれの役割</u> (1) 県の役割 (2) 県民の役割 (2) <u>保健医療機関・関係団体の役割</u> (3) <u>検診機関の役割</u> (4) 市町の役割 (5) 事業者の役割 (6) <u>患者団体の役割</u> 4. 計画の進行管理</p>

第3次香川県がん対策推進計画(平成30年3月策定)の概要

基本理念

県民一人ひとりが、がんを知り、お互いに手をたずさえてがんと向かい合う香川の実現

全体目標

がんによる死亡者の減少(75歳未満の年齢調整死亡率の20%減少)

分野別施策と個別目標

1. 科学的根拠に基づくがん予防・がん検診

(1) がんの予防の推進

- 喫煙対策 成人喫煙率 目標 8%
- 食生活、運動等の生活習慣の改善
- 感染に起因するがん予防対策

(2) がんの早期発見・早期治療の推進

- がん検診の受診率の向上 目標 55%以上
- 精密検査の受診率の向上 目標 90%以上
- がん検診の精度管理の充実

2. 患者本位のがん医療の実現

(1) がんの各治療法等の充実とチーム医療の推進

- がん診療連携拠点病院等の機能の充実
- チーム医療の体制整備

(2) それぞれのがんの特性や世代に応じた対策

- 妊孕性温存療法の普及
- 在宅医療・介護連携の推進

(3) がん登録の推進

- がん登録精度の向上
目標 DCN (DCI)10%以下、DCO5%以下

3. 尊厳を持って安心して暮らせる社会の構築

(1) がんと診断された時からの緩和ケアの推進

- 緩和医療体制の整備
緩和ケアチームを有するがん診療を行う医療機関数 目標15病院
緩和ケア病棟(病床)を有する病院数 目標5病院

(2) がんに関する相談支援や情報提供体制の充実

- 拠点病院における相談支援事業等の補助
- ピア・サポーター向け研修会

(3) 社会連携に基づくがん対策・がん患者の支援

- 「地域連携クリティカルパス」や「私のカルテ」の運用
- 多職種連携を図るための研修

(4) がん患者等を取り巻く社会的な問題への対応

- 仕事と治療の両立支援
- 入院・療養中の教育支援
- アピアランスケアの購入費用助成

4. がん対策を支える基盤の整備

- がん医療に専門的に携わる医療従事者の育成
- 学校へのゲストティーチャー派遣
- 「香川県がん教育の手引き」を活用したがん教育を実施

第3次香川県がん対策推進計画数値目標の進捗状況

全体目標

項目		第1期計画 策定時(H17)	第3次計画 策定時(H27)	現在(R3)	目標(R5年度) H17から20%減	策定時(H17) からの減少率	評価	出典
がんの年齢調整死亡率 (75歳未満)(人口10万人対)	男性	110.2	101.9	80.8	88.2	▲26.7%	◎	国立がん研究センターがん情報サービス「がん登録・統計」
	女性	59.3	53.1	49.9	47.4	▲15.9%	△	

個別目標

項目		第3次計画策定時	現在	目標(R5年度)	評価	出典
成人の喫煙率		16.0%(H28)	15.4%	8.0%	×	県民健康・栄養調査(令和4年/2022年)
がん検診の受診率 40~69歳 ※1胃がんは40~69歳 ※2子宮頸がんは20~69歳	胃がん※1	45.6%(H28)	45.1%	55%以上	×	国民生活基礎調査(令和4年/2022年)
	大腸がん	46.3%(H28)	47.9%		×	
	肺がん	54.9%(H28)	54.0%		△	
	乳がん	49.3%(H28)	52.2%		△	
	子宮頸がん※2	49.0%(H28)	48.8%		×	
精密検査の受診率		77.1%(H27)	82.8%	90%以上	○	地域保健・健康増進事業報告(令和2年/2020年)
がん登録の精度向上	DCN (DCI)	9.6%(H25)	3.6%	10%以下	◎	全国がん登録(令和元年/2019年)
	DCO	5.4%(H25)	2.4%	5%以下	◎	
緩和ケアチームを有する がん診療を行う医療機関数		12病院(H28)	14病院 (R2)	15病院	△	医療施設調査(医療施設(静態・動態)調査各定数都道府県編)(令和2年/2020年)
緩和ケア病棟(病床)を有する病院数		4病院(H28)	3病院 (R2)	5病院	×	医療施設調査(医療施設(静態・動態)調査各定数都道府県編)(令和2年/2020年)